

令和 7 年度宮城県生物多様性情報基盤整備業務
に係る質問書に対する回答

	質問	回答
1	仕様書 5(1)①活動団体等の情報収集につきまして、「県内の学校教育機関」とは大学以外の小中高等学校などが想定されるかと存じますが、調査対象者参考に列挙されているものとは別枠と考えてよろしいでしょうか。またその場合何校程度を想定されておりますでしょうか。	小中学校については、市町村へのヒアリング時の項目として把握することを想定しています。高等学校については、自然科学部などで具体的な活動を行っている高校を中心に 30 校程度を対象とすることを想定しています。
2	同じく仕様書 5(1)①活動団体等の情報収集につきまして、「県内大学」ではどのような組織階層についてアンケート調査を行う想定でしょうか。大学法人全体の経営層を代表として調査対象とするのか、あるいは学部や研究室といった細かい組織単位で生物多様性に関連する部門それぞれを対象とするのでしょうか。また、サークルのような学生組織については調査対象となりますでしょうか。	アンケートは、大学法人の事務局等、大学の代表あて送付することを想定しています。 また収集する情報としては、実際に生物多様性の保全活動に寄与している活動状況の概況、関係する学部、研究室及びサークル等を列記いただくことを想定しています。それを基に必要なに応じて個別ヒアリングを実施いただく想定です。
3	仕様書 5(1)②生物多様性に係る情報収集・分析につきまして、学術論文等を参照する際の手稿購読料につきましては受注者負担となりますでしょうか。	必要な原稿購読料については、受注者負担を想定しています。
4	仕様書 5(4) 自然共生サイト申請書作成支援につきまして、対応はオンライン（メールと必要に応じて Web 会議）で完結できますでしょうか。あるいは支援のためだけの現地訪問も発生する見込みとなりますでしょうか。	申請支援には申請予定地の生物多様性の状況や活動の様子等を把握いただく必要があり、少なくとも一度は現地を訪問し、確認していただくことを想定しています。
5	1. 企画提案書の形式は、Word による文書形式、PowerPoint 等によるスライド形式どちらでも良いという理解で良いか。	どちらの形式でも差し支えありません。
6	2. アンケート調査の対象者は、委託事業者が選定・提案するか。それとも県が提示する対象者に実施するか。	仕様書に記載された対象者を基本とし、その他に必要なと考えられる対象者について提案いただくことを想定しています。
7	3. 仕様書 5（3）②のサイトマップ及びディレクトリマップの作成は、貴県で実施する HP 更新で参考となる構成案等を作成するもので、HP 等の更新やコーディングといった作業は含まれないという理解で良いか。	今回の業務では、HP 等の更新やコーディングといった作業は含まれておりません。

8	4. (1) ②に記載のある“発注者が所有するデータ”とは、具体的にはどのようなデータか。	県内の自然公園等の保護地域の GIS 情報、県のレッドデータブックの基礎情報等を想定しています。
9	5. (1) ②においてヒアリングを行う宮城県野生動植物調査会の最新の委員名簿について、提案の参考とするためご共有いただくことは可能でしょうか。	宮城県野生動植物調査会の委員名簿については公表しておりませんので、現時点で共有できませんが、委員は、県内在住の大学教授や研究者、自然保護団体に所属する有識者の方々と構成され、哺乳類、鳥類、魚類等の分類群ごとにヒアリングを行っていただくことを想定しています。